

ホームページのご案内

<https://www.sanyaicorp.com/>

会社概要、事業内容、商品情報、プレスリリースはもちろん、IR情報サイトには決算情報をはじめ過去の説明会資料や投資家様向けイベント情報などを掲載しております。さらに、適時開示やプレスリリース時などにメールでお知らせする無料の配信サービスも行っております。是非、当社ホームページをご利用ください。

※メール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行㈱のリムズネットサービスを利用しております。



当社公式サイト

表紙について

イオン-セイは、3つの特許技術をもとに自社開発し、中国の自社工場で製造している当社のオリジナルブランドです。2018年より口腔衛生に関心が高い欧州・北米市場で販売を行っています。

特許技術搭載の高機能オーラルケア商品を通じて、今般刷新した経営ビジョン「健康と環境」を表現しています。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

BUSINESS REPORT 2020 JAPANESE



CONTENTS

1-2	TOP MESSAGE/ステークホルダーの皆さまへ
3-4	会社プロフィール/沿革
5-6	主要財務・非財務情報
7-8	セグメント別事業概況
9-10	当社のビジネスモデル
11-12	TOPICS
13	会社概要/主要な関係会社/役員一覧
14	株式の状況/株式のご案内
裏表紙	ホームページのご案内 他



SANYEI CORPORATION

TOP MESSAGE

経営ビジョン

三栄コーポレーションは
真に優れた生活用品を提供します。
「健康と環境」をテーマに
健やかで潤いのある暮らしを創造します。

ほんとうに良いものは、ひとに小さな幸せをくれる。
私たちは、良いものをつくる。良いものをえらぶ。
なぜなら、小さな幸せが積み重なる生活が、
いい人生だと信じるから。

くらしに、良いものを。

株式会社 三栄コーポレーション
代表取締役社長 小林 敬幸



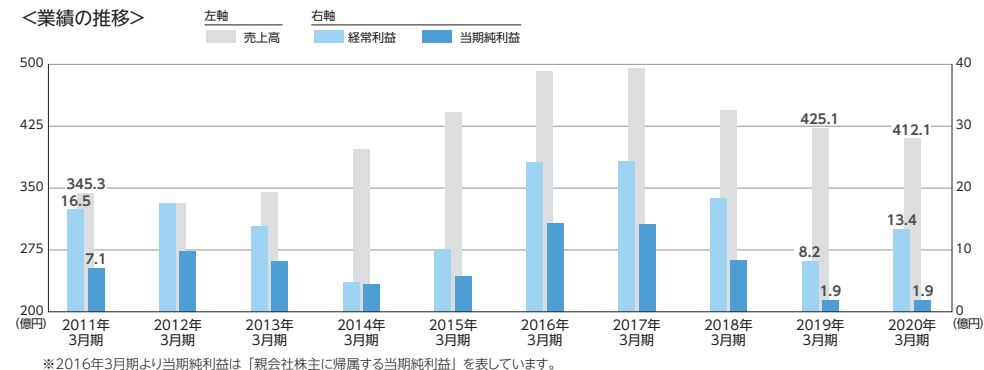
ステークホルダーの皆さまへ

当社グループは、1946年の創業以来、一貫して生活に密着した商品をご提供することを事業の理念とし、100年企業を念頭に、下記の2つの事業の相乗効果を追求するビジネスモデルを展開しております。1つが、お客様のブランド商品を製造・品質管理・物流まで一貫して提供するOEM事業です。もう1つが、OEM事業で培ってきた海外ビジネスの知識と経験を活用し、自社ブランドや海外の秀逸なブランドを販売するブランド事業です。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、人命を優先しなければならない事態となり、私たちの生活やビジネス環境が世界的に一変したことで、企業規模の大小に関わらず、経営の力が試されることとなりました。当社グループにおいては、海外関係会社の業務も制約された他、国内関係会社が運営する小売店舗はその殆どが長期間に亘り休業を余儀なくされるなど、事業活動に大きな影響が出ております。

このように、先を見通しづらい厳しい経営環境下、原点に立ち返るため企業理念を再考し、当社創業者が以前に掲げていた「随縁の思想」を、三栄のこころ、として改めて掲げることとしました。『随縁』とは、仏教を起源とする言葉であり、「縁に従うこと」「縁に従って種々の相を生じること」を意味します。仕事だけではなく、人生において、人と人とのつながりが一番大切であることを、私たち一人ひとりがいつでも立ち戻れるよう、企業理念に据えました。また、同時に、当社の経営ビジョンも上記のとおり刷新し、それを端的に表す「くらしに、良いものを。」を、経営ビジョンのステートメントとして新たに設定いたしました。

<業績の推移>



一方、2020年3月期業績は、前年比で減収、営業利益・経常利益は増益、当期純利益は減益となりました。様々なステップにおいて採算性を見直しており、それが奏功した一方で、地域別では北米の売上が大きく減収となった他、小売事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業環境の悪化も影響し、拡大を続けてきた店舗数が結果として足かせとなり、減損損失を計上せざるを得ない事態となるなど、乗り越えなくてはならない複数の課題に直面しています。

その上で、世界的に冷え込んだ経済の再活性化や消費意欲の本格的な回復には時間がかかるかと予想されており、2020年度は私共にとって試練の年となることは間違いありません。

しかしながら、「WITH コロナ」を前提とした新たな日常の常態化を模索する動きも既に出てきており、それとともに、新たな消費志向の出現や、所謂働き方改革の進捗が期待されていることも事実です。

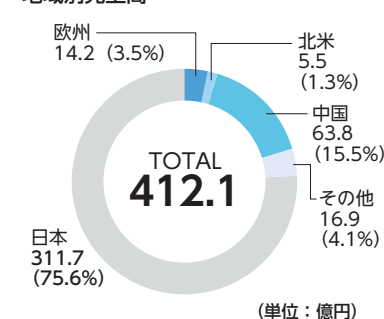
たとえば、当社においては、多くの方が在宅で過ごしておられた2020年の春以降、日本市場で運営するオンラインのインテリアショップの売上が大きく伸長しており、新常態下でのEコマース事業の需要を着実に感じています。

また、柔軟性や創造力がビジネスに一層求められる中、当社では、機動性と実行力をより高めるため本年6月に機構改革を実施するとともに、感染拡大防止が導入のきっかけとなったテレワークを、今後も新しい働き方の選択肢の一つとして継続することで、より効率的な会社運営、また従業員の働きやすい環境を整えることといたしました。

新たに生まれつつある価値観に対応し生き残っていくためには、当社が長年培ってきた生活用品の商社という専門性を活かしながらも、様々な角度からのアプローチを携え、当社ならではの付加価値創造を果たしていく必要があります。最近では、服飾雑貨事業において、循環型社会実現の一助となるよう、サステナブルな素材提供等を行う「Our EARTH Project」を立ち上げるなど、新たな取組みを進めておりますが、先人たちの教え「随縁の思想」を肝に銘じ、新たな時代にも育んでいける事業に、これからも誠実かつ積極的に関わり合っていきます。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、引き続き多大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

地域別売上高



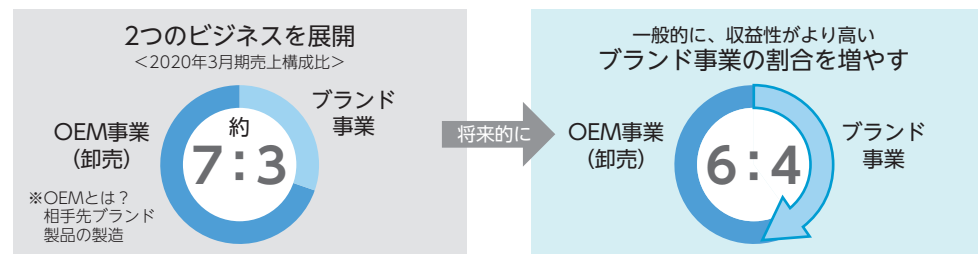
会社プロフィール

三栄コーポレーションとは？

創業70年を超える生活用品の専門商社

ビジネスモデル

家具、家庭用品、服飾雑貨、家電の4事業部制を採り、各事業部でOEM（卸売）事業とブランド事業の2つのビジネスを展開しています



業績

2020年3月期実績	
売上高	経常利益
412.1 億円	13.4 億円

強み:海外ネットワーク

約60年前の1958年に香港に進出したのを皮切りに、早期にグローバルネットワークを構築
→長年の海外展開で得たノウハウから、お客様のリクエストに早急にお応えすることができます



沿革

1946年創業

戦後の復興期に雑貨の輸出商社としてスタート

大阪、名古屋、東京それぞれの地域に根付いた商品を扱っていた3社が合併

1946年 三栄の前身、共栄商会（①）を大阪にて創業（主業はアクセサリーの欧米向け輸出）

1949年 名古屋に昭栄貿易（②）を設立（主業は陶磁器の輸出）

1954年 東京の2社を合併し東栄貿易（③）と改称（主業はギフト製品等）

1961年 上記①②③の3社が合併して三栄貿易（株）を設立（1971年に（株）三栄コーポレーションに改称）



創業の地「久本寺大黒堂」（大阪府大阪市）

1950年代～
1970年代

海外に次々と拠点ネットワークを構築

次々に海外進出
1960年代にアジアで軽工業が盛んになり、欧米顧客と更なる取引拡大を図るため、日系の生活用品の専門商社としてはいち早くアジアに進出し、アジアの拠点網の拡大を図るとともに、自らメーカーへも進出し「ものづくり」に強い商社の基盤を構築

これをベースに当時先進国の市場をリードした大手小売業（※）との取引を拡大し、欧米向け輸出が伸長
※主要取引先は当時世界最大級の小売業であるウールワース（北米、英、独）をはじめその他にもJCBペニー/シアーズ/Kマート（北米）、ホルテン（独）などと取引があった

1960年代前後 香港、台湾、ドイツ、マレーシアに拠点を設立

1979年 東京店頭市場に株式を公開

1980年代～
2000年代

対日輸入ビジネスの拡大

ビジネスモデルを輸出から輸入に転換
1985年のプラザ合意による急激な円高によりビジネスモデルを転換

中国拠点の整備・補強
中国市場の重要性を鑑み、中国内の拠点網構築に注力

ブランド充実による国内ビジネスの拡大
対日輸入ビジネス拡大のため、海外ブランドの取扱いや自社ブランドの創出を図る（ブランド事業については10ページをご覧ください）

2013年 Kipling（キプリング）の取り扱いを開始

2015年 MULTI CHEF（マルチシェフ）ブランドを本格始動

2017年 Villeroy&Boch（ビレロイ&ボッホ）の取り扱いを開始

2018年 マレーシアに家具インテリア工場を設立

2019年 ベトナム・ホーチミンに現地法人を設立

2020年 （株）mhエンタープライズと（株）エス・シー・テクノが合併し（株）ゼリックコーポレーションと改称

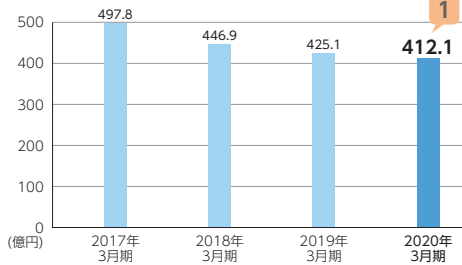
～現在 OEM事業ではノウハウの深化を図るため、柱となる4事業部制を確立し、ブランド事業では取引規模拡大と、取り扱いブランドの拡充を目指す



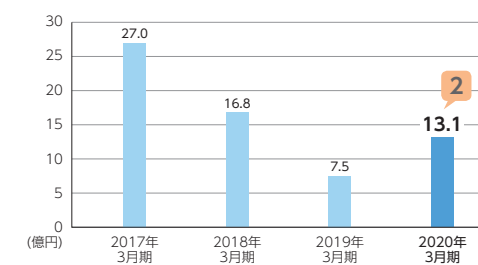
主要財務・非財務情報

財務ハイライト

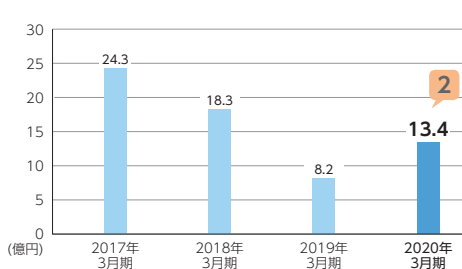
売上高



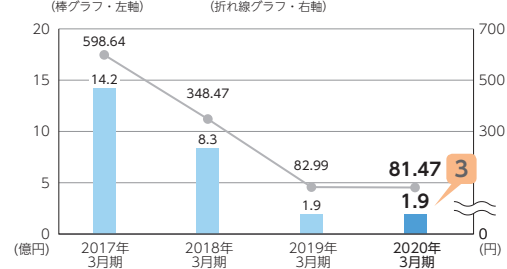
営業利益



経常利益

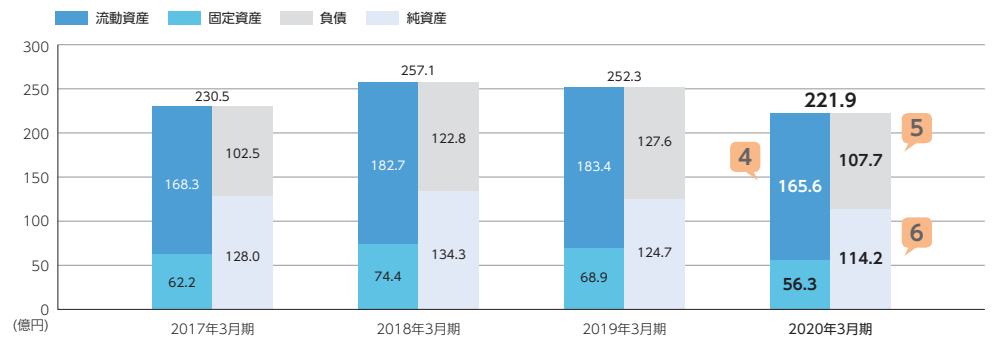


当期純利益※/1株当たり当期純利益

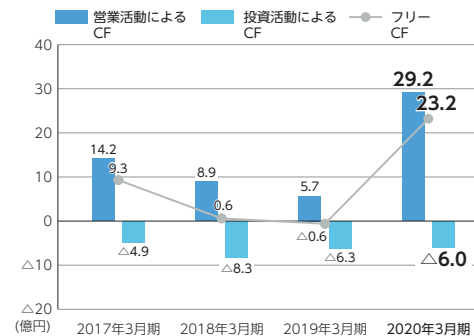


※2016年3月期より当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています

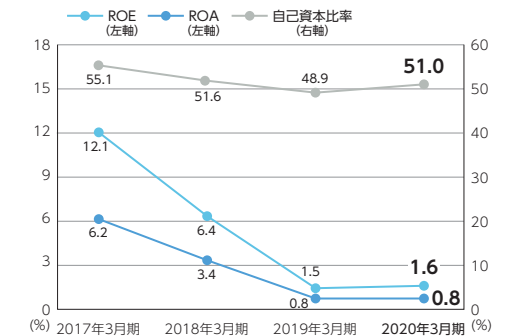
資産・純資産・負債の推移



キャッシュ・フロー



ROE・ROA・自己資本比率の推移



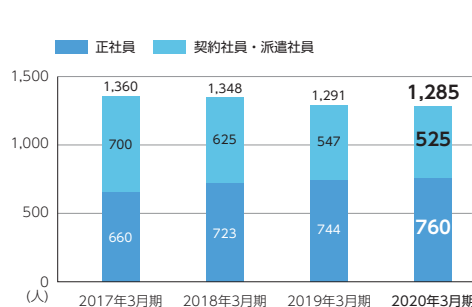
(注) セグメントの概況についてはP.7・8をご覧ください

2020年3月期実績 Point

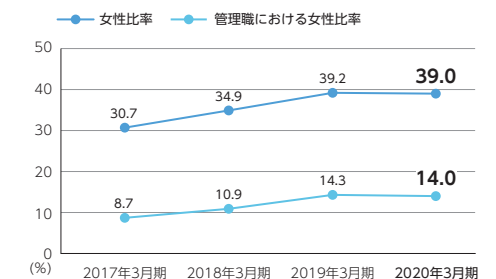
- 売上高は、OEM事業において北米ビジネスを採算性の観点から一時停止したことによる減収や、家電の日本向け売上減少が影響し、前期比△3.0%
- 営業利益は、顧客ポートフォリオの見直しにより売上総利益率が改善したことに加え、販促費削減が進み、前期比+74.9%。経常利益は、前期比+62.2%
- 当期純利益は 関係会社小売店舗の固定資産の減損損失等の特別損失の計上や、関係会社の繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上により、前期比△2.0%
- 主な資産の変動は、「現金及び預金」、「商品及び製品」が増加した一方、「受取手形及び売掛金」、「投資有価証券」が減少
- 主な負債の変動は、「1年内返済予定の長期借入金」を「社債」及び「長期借入金」に振り替えを実施
- 主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が減少

非財務ハイライト

従業員数 (連結)

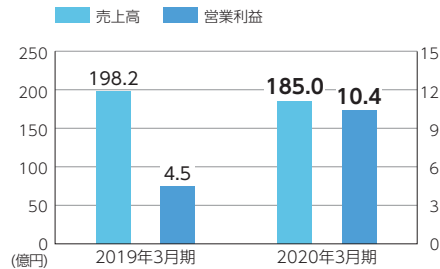


従業員における女性比率・管理職における女性比率 (単体)



セグメント別事業概況

家具・家庭用品事業セグメント



2020年3月期

売上高 **185.0** 億円 (前期比 △13.2億円)
営業利益 **10.4** 億円 (前期比 +5.9億円)

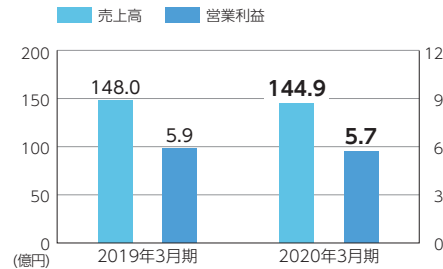
- OEM 北米向けビジネスの見直しにより大幅に減収。
- ブランド 家具インテリアのネットショップは堅調に推移し増収。

<参考>取扱商材：ベッド、テーブル等の家具、鍋・食器等の家庭用品



(注) 当報告セグメントは、営業組織上は家具事業、家庭用品事業と分けておりますが、経営上は、市場でのインテリア分野と認識し合算して開示しています。

服飾雑貨事業セグメント



2020年3月期

売上高 **144.9** 億円 (前期比 △3.1億円)
営業利益 **5.7** 億円 (前期比 △0.2億円)

- OEM 日本向けを中心に堅調に推移。
- ブランド ビルケンシュトック、キプリングは減収。

<参考>取扱商材：スーツケース・ポーチ・バッグ・靴・時計等の服飾雑貨



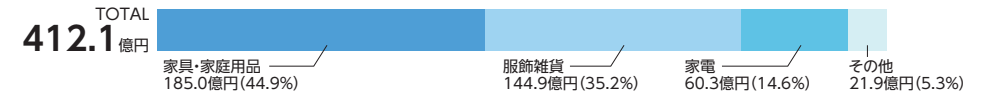
TOPICS

Our EARTH Projectの推進

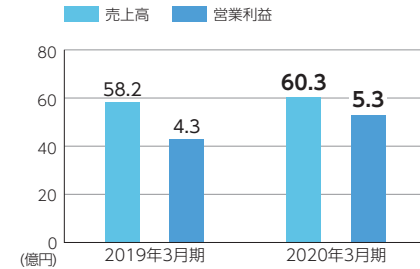
当社は“より地球にやさしい”をコンセプトとしたサステナブル&エシカルアクション「Our EARTH Project」を推進しています。このプロジェクトでは、服飾雑貨を中心に、環境に配慮したサステナブルブランド製品の取扱いの他、リサイクル素材・生地の販売、それを利用したものづくり等を、他社と共同しながら取り組んでいます。今まで、このプロジェクトの一環として、ドイツの時計ブランド「カープホルツ」の販売や、日本環境設計(株)とパートナーシップ契約を締結し、プロジェクトに取り組んでいます。



[セグメント別売上高]



家電事業セグメント



2020年3月期

売上高 **60.3** 億円 (前期比 +2.1億円)
営業利益 **5.3** 億円 (前期比 +1.0億円)

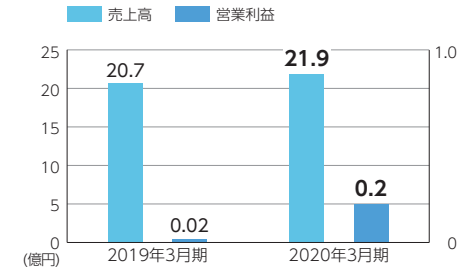
- OEM 中国国内向け売上が増加したものの、日本向け売上が減少。
- ブランド 理美容家電の日本向け売上が好調に推移したに加え、海外向け売上也伸長。

<参考>取扱商材：理美容およびキッチン家電



※mod's hair/モッズ・ヘアは、(株)三栄コーポレーションがFGAL BEAUTÉ S.A.から使用許諾を受けた商標です。
発売元:(株)ゼリックコーポレーション 輸入元:(株)三栄コーポレーション

その他



2020年3月期

売上高 **21.9** 億円 (前期比 +1.2億円)
営業利益 **0.2** 億円 (前期比 +0.18億円)

- OEM 卸売り専門の国内関係会社が伸長。
- ブランド ペットショップを運営するペピカは動物病院事業が伸長し増収。

<参考>取扱商材：ペット生体・ペット商材・輸送資材・工業用品(潤滑油)



(注) 主要ブランド詳細についてはP.10をご覧ください。

更に、6月より新たに3つのブランドの取扱いも開始し、今後更なるサービスの拡充を目指してまいります。

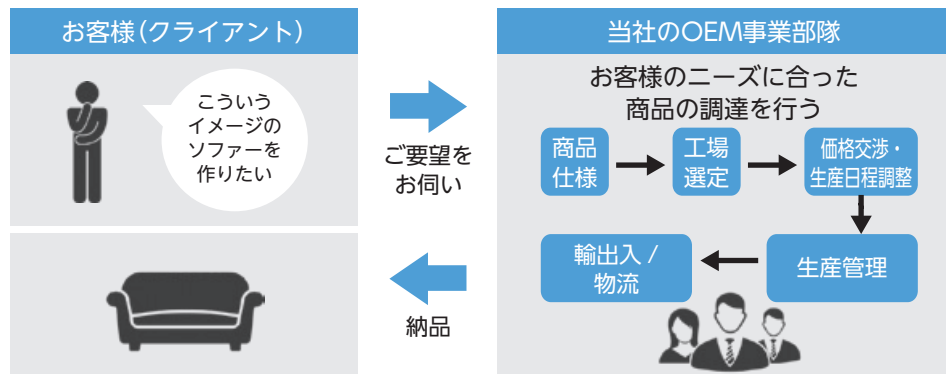
※サステナブル・・・地球の環境を壊さず、資源も使いすぎず、未来の世代も美しい地球で平和に豊かに、ずっと生活を続けていける持続可能な社会の実現を目指していくことを意味します
※エシカル・・・人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動のことを意味します



当社のビジネスモデル

当社はOEM事業とブランド事業、2つのビジネス

当社のOEM事業

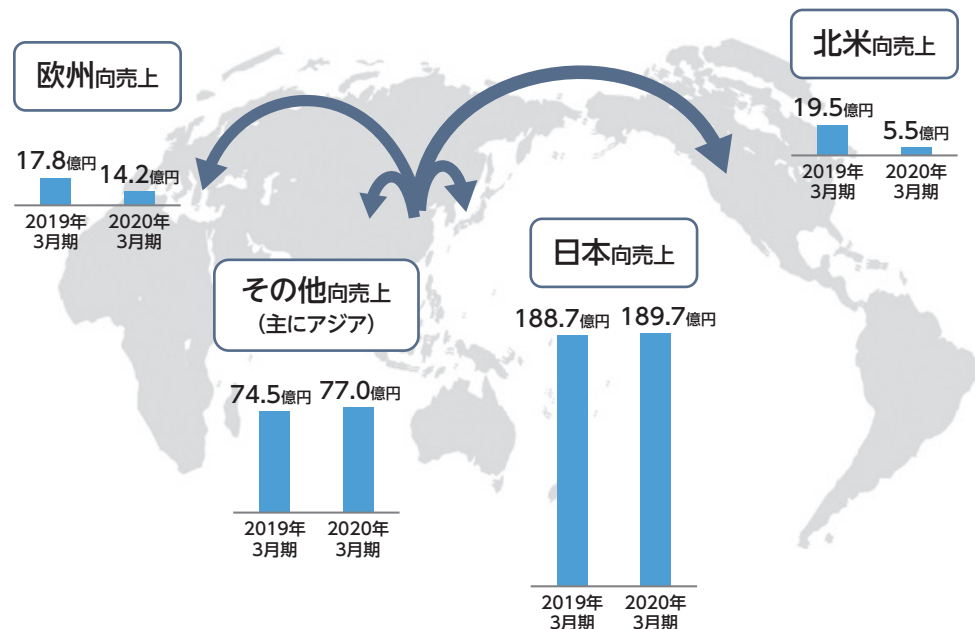


一般的にOEM事業とは、相手先ブランド製品の製造・供給を指します。

当社のOEM事業では、生産地に配置している海外拠点網を活用し、製造、流通、在庫管理に至るまでのサプライチェーンマネジメントを実施。商品に合わせた製造工場の選定から、海外メーカーとの交渉、原材料の調達、生産管理・検査、輸入に至るまで、お客様のご要望をカスタマイズ。近年ご要望の声が高まっている環境配慮素材の取扱いも行っております。

● OEM事例 ●

OEM商品の地域別取引の一部をご紹介します



[売上高OEM事業とブランド事業別内訳]

を展開しております

TOTAL
412.1億円

OEM事業
286.4億円 (69.5%)

ブランド事業
125.7億円 (30.5%)

当社のブランド事業

“本物にこだわった秀逸な商品”をコンセプトに世界からセレクトした秀逸な海外ブランド商品と、それまでのOEM事業のノウハウを集約して作り上げた自社ブランドを、卸売、小売、Eコマース、また日本のみならず海外の販売まで、それぞれのブランドの性格に応じて展開しております。

Furniture-Interior
MINT

ミントは、2015年より消費者の皆さまに直接、家具・インテリア製品をお届けする場として、インターネット通販ショップをスタート。長年の家具ビジネスでの開発、生産、品質管理等のノウハウを活かし、さまざまなシーンで活躍するアイテムをご紹介します。

CHASSEUR
1924

シャスールは、1924年にフランス・シャンパーニュ地方で創業した最高級鋳物ホーローブランド。伝統と最新技術を駆使し手作りで仕上げられます。優しく美しい発色と気密性が特徴です。

BIRKENSTOCK

ビルケンシュトックは、240年以上の歴史をもつドイツのフットウェアブランド。独自の「フットベッド（インソール）」の機能性と、ファッションの両面を兼ね備えた商品を多数取り揃えています。

kipling
Live Light

1987年にベルギーで誕生したキプリング。機能的かつ個性的な色とデザインのバッグは様々なライフスタイルにフィットし、世界中の多くのファンを魅了し愛されています。

mod's hair

常にファッションからインスパイアを受け、新しいスタイルを提案し続けるモッズ・ヘア。サロンクオリティのスタイリングツールをお届けしています。

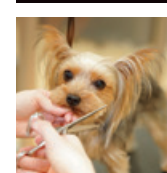
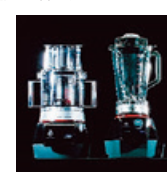
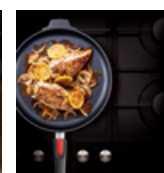
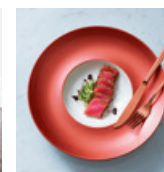
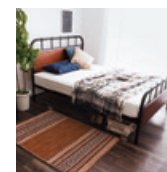
※mod's hair/モッズ・ヘアは㈱三栄コーポレーションがFGAL BEAUTÉ S.A.から使用許諾を受けた商標です。発売元:㈱セリックコーポレーション 輸入元:㈱三栄コーポレーション

MULTI CHEF

マルチシェフは、トップシェフに選ばれているフードプロセッサーなどを取り扱う業務用調理機器ブランドです。ジャパンブランドならではのクオリティをお届けします。

Pepica
Peta Pinnacle Care

ペピカは、ペット関連商品を販売する小売店の他、ペットサロン、動物病院も運営し、お客様の大切な“ご家族”のトータルサポートを目指しています。



Villeroy & Boch

ビレロイ&ボッホは、1748年創業のヨーロッパを代表するダイニング&ライフスタイルブランドです。ロイヤルウェディングで選ばれるのも伝統と高品質の証し。最先端の技術と最新の流行により作られる品々は世界中の人々の“上質な日常”を彩ります。

WOLL

ヴォルはドイツの最新テクノロジーと熟練の職人技が融合した最高級鋳物アルミニウム調理器具のブランドです。その高い品質はもちろん、独自のコーティングや着脱可能ハンドルなど、デザイン・機能性に優れたアイテムを取り揃えています。

Quorinest

クオリネストは、「これまで経験・体験したことのない新たな快適」の提案をテーマに誕生したセレクトショップ。フランスの老舗レーブランド LAULHÈREをはじめ、良質なプロダクトを幅広く展開しています。

KERBOLZ

カーボホルツは、2012年に誕生した木材等天然素材を使ったドイツの時計ブランドです。落ち着いたデザインと美しさに加え、ミニマルでありながらファッション性に優れたフォルムを追求しています。

Vitantonio

ビタントニオはシンプルなデザインと使いやすさ、そこに仕様や嗜好といった暮らしのこだわりを掛け合わせた、ずっと愛せる暮らしの道具をお届けする家電ブランドです。

ION-Sei

イオン・セイは、3つの特許技術をもとに自社開発し、中国の自社工場で製造している三栄オリジナルブランドです。歯と歯茎をいたわりながら高い歯垢除去性能を実現した、高機能オーラルケアブランドとして欧州、北米などで販売しています。

アフターサービス事業

当社のブランド事業では、ご購入いただいた商品をも永くご愛用いただくため、アフターサービスとして製品の修理事業を行っています。（一部を除く）

※サービス内容の詳細は各ブランドのホームページをご覧ください。

2020年1月より(株)ゼリックコーポレーションが始動

2020年1月に(株)m h エンタープライズと(株)エス・シー・テクノが合併し、(株)ゼリックコーポレーションと商号を変更し、新たに始動いたしました。

両社は家電事業セグメントに属し、それぞれの商品の企画・開発や販路開拓を行っていました。今回の合併を受け、人的資源、開発技術力の集中・強化を図り、家電分野におけるブランド事業の更なる発展を目指してまいります。



▼(株)ゼリックコーポレーション 取扱ブランド



Vitantonio 調理家電ブランド



mod's hair 理美容家電ブランド



MULTI CHEF 業務用調理機器ブランド

※mod's hair/モッズヘアは(株)三栄コーポレーションがFGAL BEAUTE S.A.から使用許諾を受けた商標です。
発売元:(株)ゼリックコーポレーション 輸入元:(株)三栄コーポレーション

当社グループのECショップご紹介

当社グループでは家具インテリア等、取扱商品のECショップを複数運営しています。代表的なECショップ、MINT(ミント)の他、Kipling(キプリング)、Vitantonio(ビタントニオ)等、お客様のお好みのライフスタイルに合わせ、商品展開を行っています。新型コロナウイルスの影響で、ご自宅で過ごす時間が増え、また外出を控える傾向から、多くのお客様にご興味をもっていただいています。

ぜひ当社グループのECショップへお越しください。



楽天SHOP MINT(ミント)
<https://www.rakuten.ne.jp/gold/fi-mint/>



公式オンラインショップ Kipling(キプリング)
<https://www.kipling.jp/>



(株)ベネクシー 修理工房を移転に伴い修理事業を強化

ドイツのフットウェアブランド「ビルケンシュトック」を扱う(株)ベネクシーは、修理工房の移転を行いました。

(株)ベネクシーでは長年にわたってビルケンシュトック商品の修理事業を行ってまいりました。しかし昨今、消費者の環境に対する意識が高まっており、親和性の高い修理事業拡大に向け、修理工房の移転を行いました。

今後はノウハウを活かし、自社商品の修理だけでなく、他社のフットウェアブランドの修理受託事業も強化してまいります。

■修理工房が入居する物流センター(千葉県柏市)



ビルケンシュトック新宿店を新コンセプトショップとしてリニューアルオープン

ドイツのフットウェアブランド「ビルケンシュトック」を運営する(株)ベネクシーは、2020年5月、新宿店を新コンセプトショップとしてリニューアルオープンいたしました。

ビルケンシュトックが当初から掲げるサステナビリティ精神の下、国内初の修理のスペシャリスト「マイスター」常駐の「マイスタールーム」を併設しております。

今後はこの新コンセプトショップを基盤としてブランドの情報発信強化に加え、接客・アフターサービス等の良質なサービスを通じてブランドイメージの更なる向上を図ってまいります。



BIRKENSTOCK 新宿店(新コンセプトショップ・路面店)
(2020年5月26日オープン)

● 社会貢献活動 ●

当社が40年以上に亘り支援を続けている 認定NPO法人日本多発性硬化症協会(日本MS協会)のご案内

多発性硬化症(MS=MULTIPLE SCLEROSIS)とは、中枢神経系の脱髄疾患の1つで、脊髄等の障害により手足のしびれや運動麻痺などが起こる病気です。

日本MS協会は1977年から、ロンドンが本部の「多発性硬化症世界連合」のメンバーとして病気に関する調査研究費の助成、医学シンポジウム、市民講演会・相談会の開催、メディアへのPR等の活動を行っており、その活動が認められ2017年7月、東京都より認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)の認可を受けました。

当社創業者、故和泉國夫氏が日本MS協会発起人の1人であったため、設立時より協会事務局を当社内に設置する等支援を続け、社員もボランティアとして活動しています。

■2019年12月に大手町にて開催された国際シンポジウムの様子



日本多発性硬化症協会へご賛同いただける方のご支援をお待ちしています。

認定特定非営利活動法人 日本多発性硬化症協会
事務局長 中島 莊次

〒111-0042 東京都台東区寿四丁目1番2号
TEL ▶ 03-3847-3561
E-mail ▶ jmssofc@gmail.com
HP ▶ <http://www.jmss-s.jp>

株主優待寄付総額のご報告

前年度の株主優待において、多くの株主様から「日本多発性硬化症協会への寄付」にご賛同いただきました。ご協力誠にありがとうございました。

ご寄付の総額: 約47万円

会社概要 / 主要な関係会社 / 役員一覧

会社概要

創業年月	1946(昭和21)年10月	本社	〒111-8682 東京都台東区寿四丁目1番2号 電話 03-3847-3500 (代表)
設立年月日	1950(昭和25)年2月20日	事業所	大川 (福岡県久留米市)
資本金	10億91万4,500円	上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード: 8119)
従業員数	連結1,285名 (2020年3月末、契約社員含む)		

主要な関係会社

海外関係会社

TRIACE LIMITED	香港他5拠点
TRIACE VIETNAM COMPANY LIMITED	ホーチミン
三發電器製造廠有限公司	香港
三發電器製品(東莞)有限公司	東莞
三栄貿易(深圳)有限公司	深圳、東莞
三暉国際貿易(上海)有限公司	上海
SANYEI CORPORATION (MALAYSIA) SDN.BHD.	クアラルンプール
SANYEI (DEUTSCHLAND) G.m.b.H	デュッセルドルフ

国内関係会社

(株)ベネクシー
(株)ゼリックコーポレーション
(株)L&Sコーポレーション
(株)ベピカ
(株)リリーベッ
(株)エッセンコーポレーション
(株)サムコ
三栄興産(株)

役員一覧 (2020年6月26日現在)

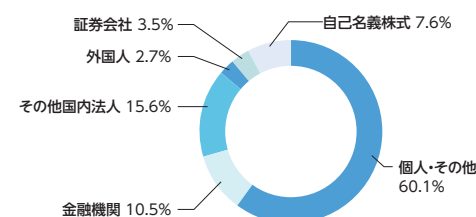
	代表取締役社長 小林 敬幸		専務取締役 佐野 雅彦 営業本部長
	常務取締役 柴田 涉 (株)L&Sコーポレーション代表取締役社長		常務取締役 水越 雅己 家具事業部長
	取締役 寺本 将憲 家電事業部長		取締役 高橋 哲也 管理本部長 兼 チーフコンプライアンスオフィサー
	取締役 清水 誠二 監査等委員		[社外] 取締役 今井 靖容 監査等委員
	[社外] 取締役 水上 洋 監査等委員		

株式の状況 / 株式のご案内

株式の状況 (2020年3月末現在)

発行可能株式総数	普通株式	8,800,000株
発行済株式の総数	普通株式	2,552,946株 (自己株式193,614株を含む)
単元株式数		100株
株主数		3,862名

株式数における構成比



大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
(株)三菱UFJ銀行	114	4.47
東銀リース(株)	111	4.37
三栄コーポレーション取引先持株会	106	4.17
SMBG日興証券(株)	75	2.97
水谷 裕之	63	2.50
(株)三井住友銀行	63	2.47
三栄グループ従業員持株会	51	2.03
綜通(株)	49	1.94
三井住友信託銀行(株)	42	1.65
村瀬 司	39	1.54

(注) 1. 持株比率は自己株式を含めて算出しております。
2. 当社では自己株式を193,614株保有しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。
定時株主総会	毎年6月に開催	公告掲載URL	https://www.sanyecorp.com/
基準日	定時株主総会 3月31日 中間配当金 9月30日 期末配当金 3月31日		ただし、やむを得ない事由により 電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載し ます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)		
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株)証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店 および全国各支店で行っております。		

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援、ご愛顧への感謝と、当社グループが取扱うブランドにより親しんでいただくことを目的とした株主優待制度を実施しております。優待商品として、当社取扱ブランドの中から厳選品を進呈しております。

EPS・配当金・配当性向・配当利回り

